

1. 本人に関する情報

姓:		名:		ジェンダー:	男性 ☐ 女性 ☐ その他 ☐
年齢:	0-5 ☐ 6-18 ☐ 19-39 ☐ 40-54 ☐ 55+ ☐	電話番号:			
住所:					体重:

2. 事前評価インタビュー

既知の健康問題	
糖尿病 ☐ 骨折 ☐ 脳卒中 ☐ フレイル (虚弱) ☐ 下肢切断 ☐ 関節炎 ☐ ポリオ ☐ 不明 ☐ その他:	
活動性と能力	
立ったり歩いたりする際、痛み、脱力感、不快感はありますか？ はい ☐ いいえ ☐	
体重負荷	片脚か両脚、どちらで歩きますか？ 両脚で歩く→強い側 (健側) の脚: 左 ☐ 右 ☐ 片脚のみで→左 ☐ 右 ☐ の脚で歩く
上半身	両手を使えますか？ 両手を使える→容易にもものをつかんでおけますか？ はい ☐ いいえ ☐ →容易にもものを持ち運べますか？ はい ☐ いいえ ☐ 片手だけ使える→左 ☐ 右 ☐ の手が使える
バランスと転倒の危険	転倒が心配ですか、またはしばしば転倒しますか？ はい ☐ いいえ ☐ リハビリテーションサービスへ紹介・相談 いいえ ☐
使用環境	歩行支援用品を右の環境で使いたいですか: 砂地や凹凸のある地面 ☐ 階段 ☐
追記:	
すでに歩行支援用品を持っている人へ	
歩行支援用品の種類	歩行杖 ☐ クラッチ ☐ 松葉杖 ☐ 歩行器 ☐ 歩行車 ☐ その他:
質問せよ: その歩行支援用品はご自分とご自分のニーズに合っていますか？ はい ☐ いいえ ☐	
確認せよ: その歩行支援用品は正しくフィッティングされているか？ はい ☐ いいえ ☐	
確認せよ: その歩行支援用品は正常に機能しているか？ はい ☐ いいえ ☐	
歩行支援用品の使用に必要な追加情報	
右の状態がありますか？	感覚 (知覚) 障害: 手部 ☐ 足部 ☐ 保険医療または糖尿病ケアへの紹介・相談を話し合う 現在ある足部創傷 ☐ 創傷ケアへの紹介・相談を話し合う 治癒した足部創傷 ☐ 足部ケアまたは糖尿病ケアへの紹介・相談を話し合う 視覚の困難 ☐ 視覚スクリーニングへ紹介・相談 聴覚の困難 ☐ 聴覚スクリーニングへ紹介・相談 指示を記憶することが困難 ☐ →歩行支援用品を使用する際に介助が必要かもしれない 義肢 ☐
身体の片側が反対側よりも強いのですか？	はい→左 ☐ 右 ☐ いいえ ☐

3. 計画

今ある歩行支援用品を:	何もしないで使用 ☐ 調整して使用 ☐ 修理して使用 ☐ 使用しない ☐		
供与する製品:	歩行杖: 左右 ☐ 片側 ☐ クラッチ: 左右 ☐ 片側 ☐ 松葉杖: 左右 ☐ 歩行器 ☐ 歩行車 ☐ その他:		
教える内容:	立つ/座る ☐ 歩く ☐ 階段 ☐ その他:		
紹介・相談先:	車椅子 ☐ リハビリテーション ☐ 義肢/装具 ☐ 保健医療 ☐ 創傷ケア ☐ 糖尿病ケア ☐ その他:	フォローアップ日:	

選択早見表: 歩行支援用品



ステップ1: 選択 歩行支援用品は、つねに本人の健康、能力、環境、好みを考慮しながら選択すること。		支えが少ない → 支えが多い					
		歩行杖	歩行杖 2 本	クラッチ	松葉杖	歩行器	歩行車
体重負荷	片脚だけ歩ける	×	×	✓	✓	×	✓ 要注意
	両脚で歩ける	✓	✓	✓ 長期使用に適する	✓ 他の支援用品が利用できない場合に限る	✓	✓
手指機能	片手だけ使える	✓	×	×	×	×	×
	両手で容易にものをつかんで運べる	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	両手を使えるが、ものをつかんでおくのが容易ではない	ものをつかんでおくのが困難な人の場合、利用できるさまざまな歩行支援用品の選択肢を試し、本人が最も扱いやすいのはどれか調べる必要があるかもしれない。					
バランスと転倒の危険	転倒が心配、またはしばしば転倒している	×	✓ 要注意	×	×	✓	✓
使用環境	歩行支援用品を階段で用いる	✓	✓	✓	✓	×	×
	歩行支援用品を、砂地や凹凸のある地面で用いる	✓	✓	✓	✓	×	×
ステップ2: 適合 - まっすぐに立つ - ひじを軽く曲げる - ハンドグリップは手首の高さに							
歩行杖 1 点杖は凹凸のある地面では 3 点・4 点杖より使いやすい。3 点・4 点杖は平らな地面でより安定する。		松葉杖/クラッチ クラッチを用いるには松葉杖よりもバランスが必要。クラッチは松葉杖に比べて長時間の使用に適する。			歩行器 – 片脚への体重負荷 糖尿病または足部創傷の危険がある人は、歩行器を使って飛び跳ねる動作を避けるべきである。危険がある足で跳ぶと損傷を引き起こしうる。		